

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

博士前期課程

# 学生募集要項

2026年10月入学

2027年 4月入学（第1回・第2回）

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND  
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp>

## 目 次

I	募集人員	1 ページ
II	入試日程	1 ページ
III	一般入試	2 ページ
IV	外国人留学生特別入試	14 ページ
V	入学検定料支払の流れ	23 ページ
VI	薬科学専攻（博士前期課程）案内	26 ページ
(参考)	各科目における試験内容と参考教科書など	30 ページ

### 入学試験に関する照会先

〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1  
岡山大学医療系事務部  
薬学系事務室教務学生担当

TEL 086-251-7923（直通）

学生募集要項の冊子での配布は行いません。  
薬学部ホームページより募集要項及び出願書類をダウンロードの上、出願してください。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

# 医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士前期課程 教育の方針

## 教育の基本的目標

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士前期課程は、学部4年制課程を修了し、創薬・育薬に関する基礎知識を基盤として、医薬品創製を中心とする薬科学の専門知識を習得し、創造性豊かで国際社会において高く評価される研究力を備え、教育・研究機関、産業界、衛生行政などの分野における課題解決に貢献できる人材の育成を行います。

## 養成する人材像

**すべての人の健康の確保のために創薬・育薬の専門力を駆使する先進的研究者**

創薬・育薬および関連分野を先導し、広く人類の健康に貢献する国際水準の研究と教育を推進しています。これらの研究・教育活動を通じて、創薬および育薬領域で活躍するために必要な教養・学識と専門性、さらには、社会ニーズに応える実践力と自ら成長し続ける探求心を有し、得られた成果を社会に還元するコミュニケーション力を備えた課題解決型人材を養成します。

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 解決策を論理的に考案できる実践力
- 客観的・論理的に判断できる探究力
- 発信・議論できるコミュニケーション力
- 個々の知識を統合的に理解できる力
- 幅広い視野と豊かな教養力

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士前期課程は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

## 求める人材像

医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士前期課程では、次のような学生を求めます。

- 1 地域から国際社会の諸課題に対して幅広い貢献を志す人

- 2 創薬および育薬に関する専門知識を統合した学際的研究を志す人
- 3 先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する人
- 4 創薬および育薬に関する専門知識を習得し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人
- 5 入学後は、創薬および育薬領域の課題解決で求められる専門知識や研究遂行能力を積極的かつ主体的に学ぶ人

## 求める力

### 【実践力】

多様な課題を理解し、解決策を考案することができる

### 【探求力】

課題や解決策を構築し、成果を論理的に判断できる

### 【コミュニケーション力】

研究背景や成果を報告・議論できる

### 【専門力】

薬学に関する基礎的な知識や技能を有する

### 【教養力】

薬学に対して関心を持ち、それらを学び続けることができる

## 選抜方針

幅広く多様な人材を確保するため、一般入試、外国人留学生特別入試を複数の日程で実施します。

## 選抜方法

筆記試験と外部英語試験、および面接により評価を行い、医歯薬学総合研究科薬科学専攻博士前期課程での学修に足る学力、適正を測ります。

## 選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

- (1) 一般入試 広く大学院博士前期課程進学希望者を対象とした入試で、筆記試験と外部英語試験、および面接を課しています。筆記試験では、創薬・育薬に関連する科学的基礎学力と課題解決能力、論理的判断力【専門力・実践力・探求力】を評価します。英語能力については、外部英語試験の成績により評価します。あわせて出願書類や面接により、主体的に学ぶ態度や薬学研究に取り組む姿勢、コミュニケーション能力【探求力・教養力・コミュニケーション力】について総合的な判断を行います。
- (2) 外国人留学生特別入試 筆記試験と外部英語試験、および面接を課しています。筆記試験では、創薬・育薬に関連する科学的基礎学力と課題解決能力、論理的判断力【専門力・実践力・探求力】を評価します。英語能力については、外部英語試験の成績により評価します。あわせて出願書類や面接により、主体的に学ぶ態度や薬学研究に取り組む姿勢【探求力・教養力】について総合的な判断を行います。面接においては研究を遂行する上で必要とされる日本語能力【コミュニケーション力】についても評価を行います。

## 入学前に学習しておくことが期待される内容

- ・研究を遂行する上で必要とされる、創薬・育薬に関連する学部卒業程度の科学的基礎学力
- ・専門の英語論文を読解するために必要な英語能力

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。  
試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL:<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

## I 募集人員

専攻	2027年4月入学募集人員	2026年10月入学募集人員
薬科学専攻	37人	若干人

※ 募集人員には、外国人留学生特別入試での若干人を含みます。

## II 入試日程

### (第1回)

試験	2026年10月入学 2027年 4月入学 (第1回)
出願期間	2026年 7月 3日 (金) ~ 2026年 7月 9日 (木) 17時 (必着)
試験日	2026年 8月21日 (金)
合格者発表	2026年 9月11日 (金)

### (第2回)

試験	2027年 4月入学 (第2回)
出願期間	2026年12月 1日 (火) ~ 2026年12月 8日 (火) 17時 (必着)
試験日	2027年 1月 7日 (木)
合格者発表	2027年 2月 5日 (金)

### Ⅲ 一般入試

#### 1 出願資格

次のいずれかに該当する者又は2027年3月(2026年10月入学の入学志願者については2026年9月)までに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

注1 1の出願資格(2)に該当する見込みの者とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構(旧称:大学評価・学位授与機構)が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者が該当します。

注2 1の出願資格(9)~(11)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

注3 1の出願資格(10)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い、出願資格を認めた者が該当します。ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

注4 出願資格(11)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

## 2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格(9)～(11)における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、「出願資格審査提出書類」を期限までに提出してください。

出願資格審査に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923	
申請書類提出 締め切り期限	2026年5月29日(金)(第1回)	2026年10月30日(金)(第2回)

## 3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923	
相談締め切り期限	2026年5月29日(金)(第1回)	2026年10月30日(金)(第2回)

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送又は持参してください。

出願に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

### (2) 出願期間

2026年 7月 3日(金) から2026年 7月 9日(木) 17時(必着) (第1回)

2026年12月 1日(火) から2026年12月 8日(火) 17時(必着) (第2回)

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(土日を除きます。また、12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923
---

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑥ 出願にあたっては、26～29ページの「VI 薬科学専攻(博士前期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、志望する教育研究分野(第2志望以下を含む。)の担当教員に事前に相談し、承諾を得てください。  
※「VI 薬科学専攻(博士前期課程)案内」は2026年10月入学者用と2027年4月入学者用に分かれているので注意してください。
- ⑦ 試験当日の教示は日本語により行われます。監督者の指示に従わない場合、失格となる可能性があります。

(5) 出願に必要な書類等

志願票、受験票及び写真票	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。 電話番号、E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し、E-mailは岡山大学からのメール(@adm.okayama-u.ac.jp)が受信できるように設定してください。 本学に在籍する志願者は、岡山大学Gmailのアドレスを記入してください。
写真	縦4.0～5.0cm×横3.0～4.0cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3ヶ月以内に撮影したもの2枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。 ※写真の裏面に氏名を記載すること。 ※本人確認の判定基準に影響する加工を行わないこと。
学業成績証明書及び卒業(見込)証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 英語以外の外国語で書かれた証明書には、必ず、その日本語訳を添付してください。 なお、本学薬学部の卒業者及び卒業見込みの者は、提出不要です。
入学検定料	30,000円(手数料が別に必要です) 23ページの「V 入学検定料支払の流れ」に従って、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングいずれかでお支払いください。 支払完了後、「入学検定料支払証明書」を印刷し、志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン手続きが可能です。 なお、 <u>支払手続きに登録する「課程」は「博士前期課程」を選択してください。</u> また、支払手続きに登録する「氏名」「住所」等は、合格通知及び入学手続き書類等の送付先として使用しますので、確実に受理できる住所を登録してください。  【入学検定料の返還について】 次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合

	<p><b>【入学検定料の免除について】</b></p> <p>本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>※ 詳細については、本学のホームページ (<a href="https://www.okayama-u.ac.jp">https://www.okayama-u.ac.jp</a>) から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。</p>								
履歴書	<p>最終の学校（大学等）を外国で卒業した入学志願者のみ</p> <p>薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。</p>								
学士の学位授与（申請）証明書	<p>「1 出願資格(2)」で出願する者のみ</p> <p>独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧称：大学評価・学位授与機構）が作成した学位授与（申請受理）証明書又は在籍する短期大学長・高等専門学校長が作成した短期大学専攻科・高等専門学校専攻科の修了見込証明書及び学士の学位授与を証明する予定である旨の証明書（様式任意）を提出してください。</p>								
英語能力試験の成績証明書等	<p><b>【学部卒業見込みの者】</b></p> <p>学部入学以降に受験した下表に示すいずれかの英語能力試験の成績証明書等を提出してください。各試験実施団体が発行・郵送する成績証明書等の原本を提出する場合は、後日返却します。成績証明書等の写しを提出する場合は、後日原本の提出を求め場合があります。出願時に成績証明書等を提出出来ない場合は、理由書を提出してください。</p> <p><b>【上記以外の者】</b></p> <p>2022年4月1日以降に受験した下表に示すいずれかの英語能力試験の成績証明書等を提出してください。各試験実施団体が発行・郵送する成績証明書等の原本を提出する場合は、後日返却します。成績証明書等の写しを提出する場合は、後日原本の提出を求め場合があります。出願時に成績証明書等を提出出来ない場合は、理由書を提出してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>英語能力試験</th> <th>提出する成績証明書等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）</td> <td>Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT</td> <td>Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。</td> </tr> <tr> <td>IELTS（overall score）</td> <td>成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書（eTRF）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いずれもオンライン試験によるものは認めない</p>	英語能力試験	提出する成績証明書等	TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）	Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。	TOEFL-iBT	Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。	IELTS（overall score）	成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書（eTRF）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
英語能力試験	提出する成績証明書等								
TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）	Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。								
TOEFL-iBT	Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。								
IELTS（overall score）	成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書（eTRF）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。								
自己アピール	<p>薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。</p>								
住民票	<p>日本在住の外国人のみ</p> <p>市区町村長が発行したもの（在留資格・在留期間が記載されたもの）</p>								
パスポートの写し	<p>外国人の入学志願者のみ提出してください。パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。</p>								
受験票等送付用封筒	<p>受験票は、交付の準備ができ次第連絡しますので、薬学系教務学生担当事務室まで取りに来てください。郵送を希望される方は、長形3号封筒（23.5cm×12cm）に、受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名）を明記し、410円分の切手を貼って提出してください。海外在住の方は出願前にご相談ください。</p>								
他研究科での在学期間証明書	<p>「1 出願資格(9)」で出願する場合のみ</p>								

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

本研究科の教育・研究活動の支援および卒業生との連携を目的として、本研究科が認める同窓会等の団体（岡山大学 Alumni（全学同窓会）、薬友会、薬学振興会）と個人情報（合格者の所属研究科・課程・専攻名、氏名、現住所）を共同利用する場合があります。

## 5 受験票の交付

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学医療系事務部薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923
---

	2026年10月入学 2027年4月入学（第1回）	2027年4月入学（第2回）
送付時期	2026年7月31日（金）	2026年12月10日（木）
到着予定日	2026年8月4日（火）	2026年12月14日（月）

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

## 6 入学者選抜方法等

### 【2027年4月入学者】（第1回）

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目）、外部英語試験（英語能力試験）、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

#### (1) 試験日程及び試験教科・内容

試験日	試験内容		試験時間
2026年 8月21日(金)	専門科目	<p>●物理 物理化学（熱力学、平衡、電気化学、反応速度論、量子化学、分子間相互作用、表面化学、分光法など）、分析化学（容量分析とその平衡、分配平衡、分光分析、機器分析、分離分析、放射性壊変と放射平衡など）</p> <p>●化学 有機化合物（天然物・医薬品などを含む）の命名・性質・構造・反応・合成（ただし、機器データによる構造解析を含む）</p> <p>●生物 生化学（タンパク質と酵素、アミノ酸、脂質、核酸、糖質、エネルギー代謝）、分子・細胞生物学（細胞の構造、細胞骨格、細胞内小器官、細胞内輸送、細胞外マトリックス、遺伝子の複製・修復・組換え、遺伝子発現の調節、細胞周期と細胞死）</p> <p>●薬理 総論、生体内情報伝達機構、チャンネルとトランスポーター、生理活性物質、神経薬理、循環器薬理、利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬、免疫・アレルギー・炎症薬理、呼吸器・消化器作用薬、感覚器作用薬、ホルモン・内分泌系治療薬、代謝性疾患治療薬</p> <p>●薬剤 物理薬剤学、製剤学（DDSを含む）、生物薬剤学、薬物動態学</p> <p>●臨床 薬物治療（医療情報を含む）、臨床薬物動態（TDM、ファーマコダイナミクスを含む）、生物統計、医薬品開発（シーズ開発、臨床研究を含む）</p> <p>※1【本学薬学部出身者】6科目から2科目を選択（そのうち1科目は第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P28, P29参照）            ※2【本学薬学部出身者以外】6科目から1科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P28, P29参照）            ※3「（参考）各科目における試験内容と参考教科書など（30ページ）」も確認してください。</p>	<p>2科目受験者 9:00 ～12:00</p> <p>1科目受験者 10:30 ～12:00</p>
	面接		<p>1科目受験者 12:30～ 2科目受験者 14:30～(※)</p>

※2科目受験者の面接試験開始時間は変更となる可能性があります。

詳細は、受験票の交付の際に案内します。

【志願票、受験票、写真票に受験者本人が記載する受験科目以外を受験すると失格となりますので注意してください。】

- ・一般入試 本学薬学部出身者（※既卒者は事前にお問い合わせください。）  
6科目から2科目を選択する。そのうち1科目は第1志望の教育研究分野が指定する科目を選択する。  
**第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、少なくとも1科目を必ず選択する。**
- ・一般入試 本学薬学部出身者以外  
6科目から第1志望の教育研究分野が指定する1科目を選択する。  
**第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、いずれか一方を選択する。**

(2) 試験配点

受験者	配点		
	専門科目 (1教科100点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面接
2科目受験者	200点	100点	合・否（集団面接）
1科目受験者	200点 (200点に換算します。)	(英語能力試験のスコア を100点に換算します。)	合・否（個人面接）

(3) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅運動公園口（西口）から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口（東口）から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車，徒歩約15分

【2027年4月入学者】（第2回）

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目）、外部英語試験（英語能力試験）、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

(1) 試験日程及び試験教科・内容

試験日	試験内容		試験時間
2027年 1月 7日(木)	専門科目	<p>●物理 物理化学（熱力学、平衡、電気化学、反応速度論、量子化学、分子間相互作用、表面化学、分光法など）、分析化学（容量分析とその平衡、分配平衡、分光分析、機器分析、分離分析、放射性壊変と放射平衡など）</p> <p>●化学 有機化合物（天然物・医薬品などを含む）の命名・性質・構造・反応・合成（ただし、機器データによる構造解析を含む）</p> <p>●生物 生化学（タンパク質と酵素、アミノ酸、脂質、核酸、糖質、エネルギー代謝）、分子・細胞生物学（細胞の構造、細胞骨格、細胞内小器官、細胞内輸送、細胞外マトリックス、遺伝子の複製・修復・組換え、遺伝子発現の調節、細胞周期と細胞死）</p> <p>●薬理 総論、生体内情報伝達機構、チャンネルとトランスポーター、生理活性物質、神経薬理、循環器薬理、利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬、免疫・アレルギー・炎症薬理、呼吸器・消化器作用薬、感覚器作用薬、ホルモン・内分泌系治療薬、代謝性疾患治療薬</p> <p>●薬剤 物理薬剤学、製剤学（DDSを含む）、生物薬剤学、薬物動態学</p> <p>●臨床 薬物治療（医療情報を含む）、臨床薬物動態（TDM、ファーマコダイナミクスを含む）、生物統計、医薬品開発（シーズ開発、臨床研究を含む）</p> <p>※1 6科目から1科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P28, P29参照） ※2 「（参考）各科目における試験内容と参考教科書など（30ページ）」も確認してください。</p>	13:30 ～15:00
	面接		15:30～

【志願票, 受験票, 写真票に受験者本人が記載する受験科目以外を受験すると失格となりますので注意してください。】

- ・一般入試 本学薬学部出身者
- ・一般入試 本学薬学部出身者以外

6科目から第1志望の教育研究分野が指定する1科目を選択する。

第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、いずれか一方を選択する。

(2) 試験配点

受 験 者	配 点		
	専門科目 (1 教科 100 点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面 接
一般入試 受験者	200 点 (200 点に換算します。)	100 点 (英語能力試験のスコア を 100 点に換算します。)	合・否 (個人面接)

(3) 試験場

岡山大学薬学部 1 号館 【岡山市北区津島中 1 - 1 - 1】

- ① J R 岡山駅運動公園口 (西口) から「4 7」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② J R 岡山駅後樂園口 (東口) から「1 7」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ J R 津山線「法界院駅」下車, 徒歩約 1 5 分

【2026年10月入学者】（第1回）

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目）、外部英語試験（英語能力試験）、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

(1) 試験日程及び試験教科・内容

試験日	試験内容		試験時間
2026年 8月21日(金)	専門科目	<p>●物理 物理化学（熱力学、平衡、電気化学、反応速度論、量子化学、分子間相互作用、表面化学、分光法など）、分析化学（容量分析とその平衡、分配平衡、分光分析、機器分析、分離分析、放射性壊変と放射平衡など）</p> <p>●化学 有機化合物（天然物・医薬品などを含む）の命名・性質・構造・反応・合成（ただし、機器データによる構造解析を含む）</p> <p>●生物 生化学（タンパク質と酵素、アミノ酸、脂質、核酸、糖質、エネルギー代謝）、分子・細胞生物学（細胞の構造、細胞骨格、細胞内小器官、細胞内輸送、細胞外マトリックス、遺伝子の複製・修復・組換え、遺伝子発現の調節、細胞周期と細胞死）</p> <p>●薬理 総論、生体内情報伝達機構、チャネルとトランスポーター、生理活性物質、神経薬理、循環器薬理、利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬、免疫・アレルギー・炎症薬理、呼吸器・消化器作用薬、感覚器作用薬、ホルモン・内分泌系治療薬、代謝性疾患治療薬</p> <p>●薬剤 物理薬剤学、製剤学（DDSを含む）、生物薬剤学、薬物動態学</p> <p>●臨床 薬物治療（医療情報を含む）、臨床薬物動態（TDM、ファーマコダイナミクスを含む）、生物統計、医薬品開発（シーズ開発、臨床研究を含む）</p> <p>※1【本学薬学部出身者】6科目から2科目を選択（そのうち1科目は第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P26, P27参照）</p> <p>※2【本学薬学部出身者以外】6科目から1科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P26, P27参照）</p> <p>※3「（参考）各科目における試験内容と参考教科書など（30ページ）」も確認してください。</p>	<p>2科目受験者 9:00 ～12:00</p> <p>1科目受験者 10:30 ～12:00</p>
	面接		<p>1科目受験者 12:30～</p> <p>2科目受験者 14:30～(※)</p>

※2科目受験者の面接試験開始時間は変更となる可能性があります。

詳細は、受験票の交付の際に案内します。

【志願票, 受験票, 写真票に受験者本人が記載する受験科目以外を受験すると失格となりますので注意してください。】

- ・一般入試 本学薬学部出身者（※既卒者については事前にお問い合わせください。）

6科目から2科目を選択する。そのうち1科目は第1志望の教育研究分野が指定する科目を選択する。

**第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、少なくとも1科目を必ず選択する。**

- ・一般入試 本学薬学部出身者以外

6科目から第1志望の教育研究分野が指定する1科目を選択する。

**第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、いずれか一方を選択する。**

(2) 試験配点

受 験 者	配 点		
	専門科目 (または口頭試問) (1教科100点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面 接
2科目受験者	200点	100点	合・否 (集団面接)
1科目受験者	200点 (200点に換算します。)	(英語能力試験のスコア を100点に換算します。)	合・否 (個人面接)

(3) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】
----------------------------

- ① JR岡山駅運動公園口（西口）から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後樂園口（東口）から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車，徒歩約15分

## 7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	日 時	掲 示 場 所
2026年10月入学 2027年4月入学(第1回)	2026年9月11日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板
2027年4月入学(第2回)	2027年2月5日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医療系事務部薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。  
(本学に在籍していない合格者には、合格通知書等を郵送します。)
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】
- ③ 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

## 8 入学手続

- (1) 入学手続方法  
詳細は、「入学案内」により通知します。

- (2) 入学手続期間

2026年10月入学	2027年4月入学
2026年9月16日(水)及び17日(木)	2027年3月8日(月)及び9日(火)

## 9 その他

- (1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレスあてに連絡します。  
【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】
- (2) 学費  
入学料 282,000円 [予定額]  
授業料(前半期分) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]  
※ なお、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- (3) 修学援助  
修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

## IV 外国人留学生特別入試

### 1 出願資格

- (1) 日本国籍を有しない者（ただし、日本国内の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く。）
- (2) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に「留学」の在留資格に変更又は取得できる見込みの者

上記(1)及び(2)の要件を満たし、次のいずれかに該当する者又は2027年3月（2026年10月入学の入学志願者は2026年9月）までに該当する見込みの者

- ① 大学を卒業した者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- ⑦ 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 1の出願資格⑥～⑦に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注2) 1の出願資格⑥に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として、書類審査の後に学力検査（筆記試験、口頭試問）及び面接を行い出願資格を認めた者が該当します。

ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

(注3) 出願資格⑦の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

## 2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格⑥～⑦における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、「出願資格審査提出書類」を期限までに提出してください。

出願資格審査に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923	
申請書類提出 締め切り期限	2026年5月29日(金) (第1回)	2026年10月30日(金) (第2回)

## 3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923	
相談締め切り期限	2026年5月29日(金) (第1回)	2026年10月30日(金) (第2回)

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送又は持参してください。

出願に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、薬学系ホームページよりダウンロードの上、提出してください。

【URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】

### (2) 出願期間

2026年 7月 3日(金) から2026年 7月 9日(木) 17時(必着) (第1回)

2026年12月 1日(火) から2026年12月 8日(火) 17時(必着) (第2回)

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(土日を除きます。また、12時から13時までを除きます。)

(3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学医療系事務部 薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923
---

(4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑥ 出願にあたっては、26～29ページの「VI 薬科学専攻(博士前期課程)案内により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、志望する教育研究分野(第2志望以下を含む。)の担当教員に事前に相談し、承諾を得てください。」  
※「VI 薬科学専攻(博士前期課程)案内」は2026年10月入学者用と2027年4月入学者用に分かれているので注意してください。
- ⑦ 試験当日の教示は日本語により行われます。監督者の指示に従わない場合、失格となる可能性があります。

(5) 出願に必要な書類等

志願票、受験票及び写真票	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。 電話番号、E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し、E-mailは岡山大学からのメール(@adm.okayama-u.ac.jp)が受信できるように設定してください。
写真	縦4.0～5.0cm×横3.0～4.0cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3ヶ月以内に撮影したもの2枚を志願票及び写真票の所定欄に貼り付けてください。 ※写真の裏面に氏名を記載すること。 ※本人確認の判定基準に影響する加工を行わないこと。
学業成績証明書及び卒業(見込)証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 英語以外の外国語で書かれた証明書には、必ず、その日本語訳を添付してください。
入学検定料	30,000円(手数料が別に必要です) 23ページの「V 入学検定料支払の流れ」に従って、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM、ネットバンキングいずれかでお支払いください。 支払完了後、「入学検定料支払証明書」を印刷し、志願票の所定欄ののりで貼り付けてください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン手続きが可能です。 なお、支払手続き時に登録する「課程」は「博士前期課程」を選択してください。また、支払手続き時に登録する「氏名」「住所」等は、合格通知及び入学手続き書類等の送付先として使用しますので、確実に受理できる住所を登録してください。  【入学検定料の返還について】 次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合

	<p>【入学検定料の免除について】</p> <p>本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>※ 詳細については、本学のホームページ (<a href="https://www.okayama-u.ac.jp">https://www.okayama-u.ac.jp</a>) から「入試」→「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。</p>	
履歴書	最終の学校（大学等）を外国で卒業した入学志願者のみ 薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。	
住民票	日本在住の外国人のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの)	
英語能力試験の成績証明書等	2022年4月1日以降に受験した下表に示すいずれかの英語能力試験の成績証明書等を提出してください。各試験実施団体が発行・郵送する成績証明書等の原本を提出する場合は、後日返却します。成績証明書等の写しを提出する場合は、後日原本の提出を求める場合があります。出願時に成績証明書等を提出出来ない場合は、理由書を提出してください。	
	英語能力試験	提出する成績証明書等
	TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度（IPテスト）	Official Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC申込サイトから出力したOfficial Score Certificate（デジタル公式認定証）【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
	TOEFL-iBT	Test Taker Score Report ※ETSアカウントから出力したTest Taker Score Report【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
	IELTS（overall score）	成績証明書（Test Report Form） ※Test taker Portalから出力した成績証明書(eTRF)【PDF】を印刷し、提出することも認めます。
※いずれもオンライン試験によるものは認めない		
自己アピール	薬学系ホームページよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。	
パスポートの写し	パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。	
受験票等送付用封筒	受験票は、交付の準備ができ次第連絡しますので、薬学系教務学生担当まで取りに来てください。郵送を希望される方は、長形3号封筒（23.5cm×12cm）に、受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名）を明記し、410円分の切手を貼ってください。海外在住の方は出願前にご相談ください。	

(6) 個人情報利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

本研究科の教育・研究活動の支援および卒業生との連携を目的として、本研究科が認める同窓会等の団体（岡山大学 Alumni（全学同窓会）、薬友会、薬学振興会）と個人情報（合格者の所属研究科・課程・専攻名、氏名、現住所）を共同利用する場合があります。

## 5 受験票の交付

- (1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。  
なお、到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学医療系事務部薬学系事務室教務学生担当 TEL (086) 251-7923
---

	2026年10月入学 2027年4月入学 (第1回)	2027年4月入学 (第2回)
送付時期	2026年7月31日 (金)	2026年12月10日 (木)
到着予定日	2026年8月4日 (火)	2026年12月14日 (月)

- (2) 受験票は、試験当日及び入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

## 6 入学者選抜方法等

### 【2027年4月入学者】（第1回）（第2回）

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目）、外部英語試験（英語能力試験）、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

#### (1) 試験日程及び試験教科・内容

試験日	試験内容		試験時間
<b>（第1回）</b> 2026年 8月21日（金）  <b>（第2回）</b> 2027年 1月7日（木）	専門科目	●物理 物理化学（熱力学、平衡、電気化学、反応速度論、量子化学、分子間相互作用、表面化学、分光法など）、分析化学（容量分析とその平衡、分配平衡、分光分析、機器分析、分離分析、放射性壊変と放射平衡など） ●化学 有機化合物（天然物・医薬品などを含む）の命名・性質・構造・反応・合成（ただし、機器データによる構造解析を含む） ●生物 生化学（タンパク質と酵素、アミノ酸、脂質、核酸、糖質、エネルギー代謝）、分子・細胞生物学（細胞の構造、細胞骨格、細胞内小器官、細胞内輸送、細胞外マトリックス、遺伝子の複製・修復・組換え、遺伝子発現の調節、細胞周期と細胞死） ●薬理 総論、生体内情報伝達機構、チャネルとトランスポーター、生理活性物質、神経薬理、循環器薬理、利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬、免疫・アレルギー・炎症薬理、呼吸器・消化器作用薬、感覚器作用薬、ホルモン・内分泌系治療薬、代謝性疾患治療薬 ●薬剤 物理薬理学、製剤学（DDSを含む）、生物薬理学、薬物動態学 ●臨床 薬物治療（医療情報を含む）、臨床薬物動態（TDM、ファーマコダイナミクスを含む）、生物統計、医薬品開発（シーズ開発、臨床研究を含む）  ※1【外国人留学生】6科目から1科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P28、P29参照） ※2 筆記試験（専門科目）は日本語又は英語の問題文から選択できます。解答言語は日本語又は英語とします。 ※3「（参考）各科目における試験内容と参考教科書など（30ページ）」も確認してください。	<b>（第1回）</b> 10:30 ~12:00  <b>（第2回）</b> 13:30 ~15:00
	面接		<b>（第1回）</b> 12:30~ <b>（第2回）</b> 15:30~

【志願票、受験票、写真票に受験者本人が記載する受験科目以外を受験すると失格となりますので注意してください。】

#### ・外国人留学生特別入試

6科目から第1志望の教育研究分野が指定する1科目を選択する。

第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、いずれか一方を選択する。

(2) 試験配点

受 験 者	配 点		
	専門科目 (1 教科 100 点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面 接
外国人留学生	200 点 (200 点に換算します。)	100 点 (英語能力試験のスコア を 100 点に換算します。)	合・否 (個人面接)

(3) 試験場

岡山大学薬学部 1 号館 【岡山市北区津島中 1 - 1 - 1】

- ① J R 岡山駅運動公園口 (西口) から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② J R 岡山駅後楽園口 (東口) から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ J R 津山線「法界院駅」下車, 徒歩約 15 分

【2026年10月入学者】（第1回）

入学者の選抜は、筆記試験（専門科目）、外部英語試験（英語能力試験）、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

自然災害や感染症の発生等により、試験の延期や実施方法の変更を行う場合があります。試験の延期や実施方法の変更を行う場合は、決まり次第以下のHPでお知らせします。

URL : <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/>

(1) 試験日程及び試験教科・内容

試験日	試験内容	試験時間
2026年 8月21日(金)	<p>専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●物理 物理化学（熱力学、平衡、電気化学、反応速度論、量子化学、分子間相互作用、表面化学、分光法など）、分析化学（容量分析とその平衡、分配平衡、分光分析、機器分析、分離分析、放射性壊変と放射平衡など）</li> <li>●化学 有機化合物（天然物・医薬品などを含む）の命名・性質・構造・反応・合成（ただし、機器データによる構造解析を含む）</li> <li>●生物 生化学（タンパク質と酵素、アミノ酸、脂質、核酸、糖質、エネルギー代謝）、分子・細胞生物学（細胞の構造、細胞骨格、細胞内小器官、細胞内輸送、細胞外マトリックス、遺伝子の複製・修復・組換え、遺伝子発現の調節、細胞周期と細胞死）</li> <li>●薬理 総論、生体内情報伝達機構、チャンネルとトランスポーター、生理活性物質、神経薬理、循環器薬理、利尿薬、泌尿器・生殖器作用薬、免疫・アレルギー・炎症薬理、呼吸器・消化器作用薬、感覚器作用薬、ホルモン・内分泌系治療薬、代謝性疾患治療薬</li> <li>●薬剤 物理薬剤学、製剤学（DDSを含む）、生物薬剤学、薬物動態学</li> <li>●臨床 薬物治療（医療情報を含む）、臨床薬物動態（TDM、ファーマコダイナミクスを含む）、生物統計、医薬品開発（シーズ開発、臨床研究を含む）</li> </ul> <p>※1【外国人留学生】6科目から1科目を選択（第一志望の教育研究分野が指定する科目を選択 P26, P27参照）            ※2 筆記試験（専門科目）は日本語又は英語の問題文から選択できます。解答言語は日本語又は英語とします。            ※3「（参考）各科目における試験内容と参考教科書など（30ページ）」も確認してください。</p>	10:30 ～12:00
	面接	12:30～

【志願票、受験票、写真票に受験者本人が記載する受験科目以外を受験すると失格となりますので注意してください。】

・外国人留学生特別入試

6科目から第1志望の教育研究分野が指定する1科目を選択する。

第1志望の教育研究分野が指定する科目が2科目の場合、いずれか一方を選択する。

(2) 試験配点

受験者	配点		
	専門科目 (または口頭試問) (1教科100点)	外部英語試験 (英語能力試験)	面接
外国人留学生	200点 (200点に換算します。)	100点 (英語能力試験のスコア を100点に換算します。)	合・否 (個人面接)

(3) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】
----------------------------

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約15分

## 7 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	日 時	掲 示 場 所
2026年10月入学 2027年4月入学(第1回)	2026年9月11日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板
2027年4月入学(第2回)	2027年2月5日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医療系事務部薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。  
(本学に在籍していない合格者には、合格通知書等を郵送します。)
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 8 入学手続

- (1) 入学手続方法  
詳細は、「入学案内」により通知します。
- (2) 入学手続期間

2026年10月入学	2027年4月入学
2026年9月16日(水)及び17日(木)	2027年3月8日(月)及び9日(火)

## 9 その他

- (1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレスあてに連絡します。  
【URL：<https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/admission/graduate/>】
- (2) 学費  
入学料 282,000円 [予定額]  
授業料(前半期分) 267,900円 (年額535,800円) [予定額]  
※ なお、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- (3) 修学援助  
修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

# V 入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



**STEP 1**  
**事前準備**

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを  
用意してください。  
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

**STEP 2**  
**入学検定料支払サイトにアクセス**

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>  
または、  
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>  
または、  
大学  
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>  
からアクセス

**STEP 3**  
**個人情報の登録**

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認  
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェックを入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了  
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ペイジー対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書(イメージ)

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(\*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

受付番号(12桁)メモ  
227484221761

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

## 入学検定料の支払い方法

## 1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなかも、コンビニ、

FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

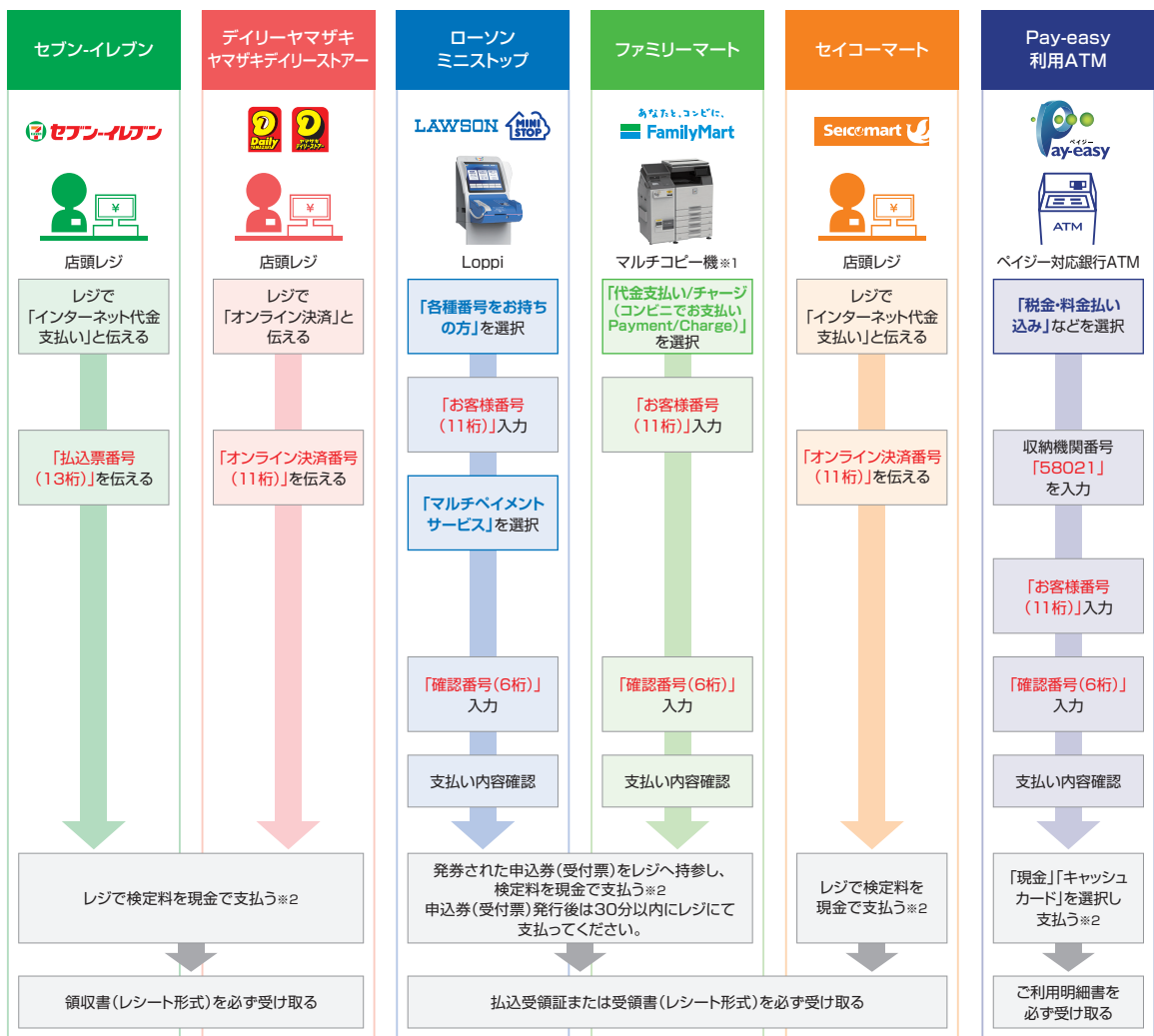
## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

## 3 コンビニエンスストア



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

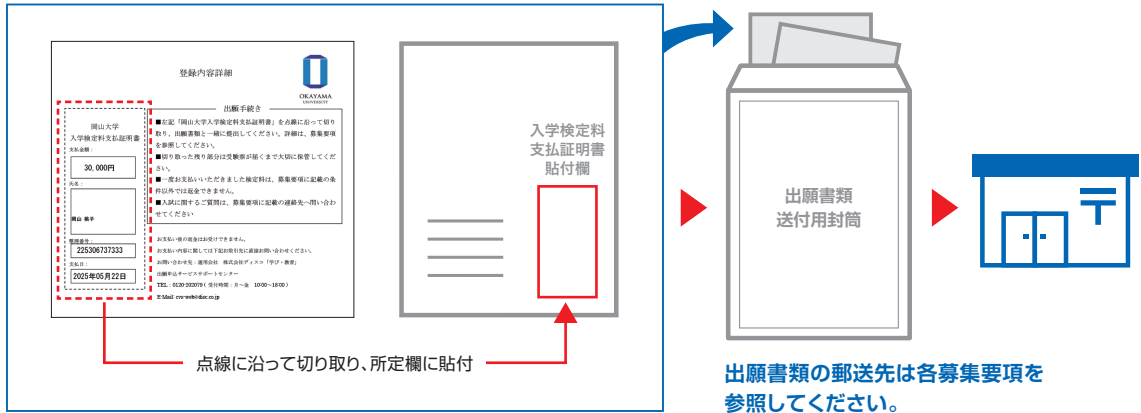
# STEP

# 5



## 入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ添付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



## 〈支払完了〉

### 出願時の 注意点

出願は**学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。**

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

Ⅶ 薬科学専攻(博士前期課程) 案内【2026年10月入学】

講座	部門	分野が指定 する科目 教育研究	教育研究分野		担当教員	
			名称	内容		
薬品合成解析学	薬品合成学	化学	創薬有機化学	有機合成化学の新手法・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発(天然物創薬)に関する教育・研究を行う。	好光 健彦 教授	
		化学 / 薬理	合成医薬品開発学	有機合成化学を基盤とした標的組織への薬物送達技術の開拓、ADMEを考慮した合成医薬品候補物質の分子設計と活性評価、構造活性相関に関する教育・研究を行う。	(加来田 博貴 准教授)	
		化学	天然物化学	未利用生物資源を利用して、新規天然有機化合物の探索や未解明な生合成機構の解明に取り組むことにより、新たな生命現象の理解と医薬品開発に資する教育・研究を行う。	久保田 高明 教授	
		化学	精密有機合成化学	炭素-水素結合活性化反応を用いたlate stage functionalizationによる効率的合成の新手法確立、及びそれらを基軸とした生物活性物質、機能性分子の全合成に向けた教育・研究を行う。	澤田 大介 教授	
	物質情報解析学	生物 / 物理	生物物理化学	生物物理化学	【光をくすりにする研究】 光や電気などの物理的刺激を利用し、分子から脳まで、高速反応から分子進化までの幅広い時空間軸での解析と解析法の開拓を行い、生命機能を物理化学の言葉で理解・制御・操作することで、創薬を支える教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授
			生体機能分析学	生体機能分析学	物理的診断法(画像診断)のための各種分子プローブや核医学治療薬の開発と、生体分子イメージング技術に基づく生体機能の非侵襲的分析や疾患の病態解明・治療などに関する教育・研究を行う。	上田 真史 教授
			生理機能情報学	生理機能情報学	生理学実験と数理モデル解析を組み合わせたアプローチにより、生体システムにおいて多種多様な組織の機能を支えるタンパク質やオルガネラの生理的・病態生理的役割の解明、これらを制御する手法の開発を目指した教育・研究を行う。	竹内 綾子 教授
	生命反応解析学	分子生命解析学	再生治療薬学	再生治療薬学	難治性疾患の克服を目指し、細胞治療剤・遺伝子治療剤の創製や、薬物送達システム(DDS)を基盤とした薬物治療の最適化を研究課題とし、再生医療剤の設計と評価に関する教育・研究を行う。	堀口 道子 教授
			生物	生体膜生理化学	生体膜の構造と機能、膜のダイナミクスと生命活動、膜ATPase・トランスポーター・チャネル・レセプターが関与する疾病などについての教育・研究を行う。	(表 弘志 准教授)
			生物	分子生物学	細菌と宿主生物の相互作用メカニズムについて生化学および遺伝学的解析を行い、感染症および免疫関連疾患に対する創薬を目指した教育・研究を行う。	垣内 力 教授
薬剤 / 臨床薬理			医薬品信頼性科学	社会薬学を基盤に、多様なモダリティを活用した低品質・偽造医薬品の製剤学的実態の解明と検出法の開発、ならびに医薬品流通の社会的背景を踏まえた方策の提言を通じて、科学的根拠に基づく医薬品セキュリティ強化に資する教育・研究を行う。	吉田 直子 教授	
薬理 / 生物			統合生化学	生化学を基盤とし、分子から個体までを繋ぐ統合的アプローチにより、輸送体(トランスポーター)の生理的・病態的役割を解明する。さらに、その分子メカニズムに基づく創薬基盤を構築し、次世代のトランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	宮地 孝明 教授	
病態代謝解析学	生物 / 化学	毒性学	毒性学	化学構造と生体反応を解析するケモインフォマティクスやバイオインフォマティックとin vitro遺伝子転写発現機構解析に基づく毒性発現機構の解析やそれらを応用した新たな毒性評価戦略について教育・研究を行う。	小野 敦 教授	
		薬理 / 生物	病態機能診断学	病態機能診断学	精神・神経疾患の病態を解析し、より効果的な診断法・薬物治療について教育・研究を行う。	※ 松本 洋輔 教授

※は他部局所属の協力教員を示す。

講座	部門	分野が指定する科目 教育研究	教育研究分野		担当教員
			名称	内容	
薬効解析応用学	薬効評価解析学	薬理	薬効解析学	一酸化窒素などによる酸化ストレスの実体を分子レベルで解析し、パーキンソン病やアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患発症機構の解明を目指す。このような状態に関連したタンパク質品質機構の詳細なメカニズムについて解析する。発症機序を基にした新規早期診断法や治療薬(中枢神経系、免疫アレルギー系、循環器系)開発についての教育・研究を行う。	上原 孝 教授
		薬理／生物臨床	炎症薬物学	炎症反応およびアレルギー反応の病態を様々な手法で解析し、新規な作用機序を有する予防薬および治療薬の開発に貢献できる新しい疾患モデルの作製と薬物評価方法などについて研究・教育を行う。	(杉本 幸雄 准教授)
		薬理／臨床	薬学データサイエンス	保健医療に関する多様な情報(診療記録、診療報酬明細情報、副作用情報等)を活用し、保健医療の発展に貢献することを目的とする。そのため、大規模かつ複雑データの高度処理および応用統計解析に基づく臨床疫学的研究に関する教育・研究を行う。	小山 敏広 教授
		薬理／臨床	臨床基礎統合薬学	臨床研究と基礎研究を統合的に実施するとともに、検証的な臨床研究をはじめとする薬学トランスレーショナルリサーチを推進するための教育・研究を行い、薬学研究成果を社会実装に導くことを目的とする。特に、腎臓病薬物療法の最適化、腎疾患の新規治療法開発、小児・妊婦における薬物療法の個別最適化に焦点を当てる。	山本 和宏 教授
	薬物療法応用学	薬剤	生物薬剤学	がん治療に関連する医薬品の体内動態特性の評価や新たな治療標的の探索から得られた知見に基づいて、副作用を低減し、治療効果を改善するDDS製剤の開発を目指す。これらの研究を通じて、医薬品の有効性・安全性の向上を目的とした製剤開発に関する教育・研究を行う。	(丸山 正人 准教授)
		臨床／薬剤	臨床薬物動態学	薬物療法の個別化至適化手法の構築を目的に、薬物の体内動態と薬効に影響を与える変動因子の同定と変動メカニズムの解明を目指した教育・研究を行う。また、臨床データの適及的並びにコホートの解析により、薬物療法の最適化を支援する科学的根拠の発見と蓄積を目的とする教育・研究を併せて実施する。	(合葉 哲也 准教授)
		化学／生物	核酸創薬化学	生体関連分子の分子認識能を基にした独特な複素環化合物の分子設計と有機合成化学的研究および、それらの生化学的機能評価研究を通じて、革新的な次世代医薬品開発の基盤構築に関する教育・研究を行う。	谷口 陽祐 教授
	環境因子応用解析学	臨床／生物	疾患薬理制御科学	人が積極的に摂取する医薬品だけでなく、食物や嗜好品等に含まれる成分も生体に影響し、良い側面だけでなく様々な疾患の発症にも関わっている。それら外来性の因子の摂取や生体との相互作用を制御し、薬物療法の個別適正化や非感染性慢性疾患の発症抑制等に資する教育・研究を行う。	有吉 範高 教授
		生物	国際感染症制御学	新興・再興感染症のうち、寄生虫及びウイルス性疾患に焦点を当て、安定した培養系・評価系を構築し、新規治療剤のシーズ選抜と薬剤標的の解明研究を通して関連疾病の分子基盤構築から医薬品開発に至る広範囲の教育・研究を行う。	(金 惠淑 准教授)
	安全(連携講座)性評価学	薬理／生物	医薬品評価学	ヒトiPS細胞や臓器チップ、インシリコなどを活用し、医薬品や化学物質、ワクチン等に関する薬理作用・安全性、発現機序、新規試験法の開発などの研究を行う。これらを通じて、規制行政に資する教育・研究を行う。	諫田 泰成 客員教授
化学／生物		生物有機化学	生理活性物質の合成・構造と機能・反応性・生体分子との相互作用に関する有機化学的研究を通じて、革新的な低分子・中分子医薬品開発の基盤となるケミカルバイオロジーに関する教育・研究を行う。	出水 庸介 客員教授	
薬理／生物		医薬安全科学	医薬品の副作用回避を目的に、重症薬疹、薬剤性間質性肺炎、横紋筋融解症などの重篤副作用に関して、その発現要因、診断バイオマーカーの探索、発現機序、その行政利用について、主として医療情報データベース、臨床試料及び培養細胞等を対象にした研究を行う。これらを通じて、製造販売後安全対策の重要性の理解促進に資する教育・研究を行う。	齊藤 公亮 客員教授 (荒川 憲昭 客員准教授)	
生物		安全性予測評価学	有害性発現機序に基づいたin vitro試験データ、in silicoモデルおよび大規模毒性データベースなどを統合的に活用した化学物質の安全性予測評価手法の開発と信頼性向上、国際調和、行政利用促進に資する教育・研究を行う。	平林 容子 客員教授 増村 健一 客員教授 (足利 太可雄 客員准教授)	
生物		先進毒性評価学	動物実験の精緻化、新規試験法、バイオマーカーの構築、ならびに毒性メカニズムの解析を通じ、安全性評価の高度化に向けた研究を行う。化学物質や食品関連物質を対象とした手法の信頼性・妥当性評価、およびリスク評価への統合的応用に関する研究を通じて、国際協調に基づいた評価体系のトランスレーション(移行)に資する教育・研究を行う。	山田 隆志 客員教授	
生体金属作用学(連携講座)	薬理／生物	分子病態学	メチル水銀を中心とした生体金属の作用を分子病態レベルで解析することによって、生体金属に起因する疾患の病因と特性について研究を行う。これらの過程を通じて、生体金属に起因する疾患の診断、予防および治療に資する教育・研究を行う。	藤村 成剛 客員教授 (永野 匡昭 客員准教授) (住岡 暁夫 客員准教授) (丸本 倍美 客員准教授)	
	薬理／生物	臨床病態解析学	メチル水銀中毒の代表的疾患である水俣病は、主に感覚野、視覚野、聴覚野、小脳が傷害される中枢神経疾患である。脳磁計・MRIを使って病態解析を行うとともに、磁気刺激治療による治療法を検討する。これらの過程を通じて、中枢神経疾患の診断および治療に資する教育・研究を行う。	中村 政明 客員教授	

薬科学専攻(博士前期課程) 案内【2027年4月入学】

講座	部門	分野が指定する科目 教育研究	教育研究分野		担当教員
			名称	内容	
薬品合成解析学	薬品合成学	化学	創薬有機化学	有機合成化学の新技术・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発(天然物創薬)に関する教育・研究を行う。	好光 健彦 教授
		化学 / 薬理	合成医薬品開発学	有機合成化学を基盤とした標的組織への薬物送達技術の開拓、ADMEを考慮した合成医薬品候補物質の分子設計と活性評価、構造活性相関に関する教育・研究を行う。	(加来田 博貴 准教授)
		化学	天然物化学	未利用生物資源を利用して、新規天然有機化合物の探索や未解明な生合成機構の解明に取り組むことにより、新たな生命現象の理解と医薬品開発に資する教育・研究を行う。	久保田 高明 教授
		化学	精密有機合成化学	炭素-水素結合活性化反応を用いたlate stage functionalizationによる効率的合成の新技术確立、及びそれらを基軸とした生物活性物質、機能性分子の全合成に向けた教育・研究を行う。	澤田 大介 教授
	物質情報解析学	生物 / 物理	生物物理化学	【光をくすりにする研究】光応答タンパク質「ロドプシン」の単離・同定・解析により光と生命の連関性を理解するとともに、その光応答性を利用した生物種(動物・植物・細菌)の機能の光制御・操作法を開発することで、光による病気の治療や物質生産につなげるための教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授
			神経生物物理学	治療薬が効かない神経難病(難治てんかん等)の新薬開発を目指し、脳機能を制御する電気信号を指標に、創薬標的分子の同定と新薬シード化合物の探索に関する教育・研究を行う。	(井上 剛 准教授)
		物理 / 化学	生体機能分析学	物理的診断法(画像診断)のための各種分子プローブや核医学治療薬の開発と、生体分子イメージング技術に基づく生体機能の非侵襲的分析や疾患の病態解明・治療などに関する教育・研究を行う。	上田 真史 教授
			生理機能情報学	生理学実験と数理モデル解析を組み合わせたアプローチにより、生体システムにおいて多種多様な組織の機能を支えるタンパク質やオルガネラの生理的・病態生理的役割の解明、これらを制御する手法の開発を目指した教育・研究を行う。	竹内 綾子 教授
		生物 / 薬理	再生治療薬学	難治性疾患の克服を目指し、細胞治療製剤・遺伝子治療製剤の創製や、薬物送達システム(DDS)を基盤とした薬物治療の最適化を研究課題とし、再生医療製剤の設計と評価に関する教育・研究を行う。	堀口 道子 教授
			生物	生体膜生理化学	生体膜の構造と機能、膜のダイナミクスと生命活動、膜ATPase・トランスポーター・チャネル・レセプターが関与する疾病などについての教育・研究を行う。
	生命反応解析学	生物	分子生物学	細菌と宿主生物の相互作用メカニズムについて生化学および遺伝学的解析を行い、感染症および免疫関連疾患に対する創薬を目指した教育・研究を行う。	垣内 力 教授
			薬剤 / 臨床薬理 / 生物	医薬品信頼性科学	社会薬学を基盤に、多様なモダリティを活用した低品質・偽造医薬品の製剤学的実態の解明と検出法の開発、ならびに医薬品流通の社会的背景を踏まえた方策の提言を通じて、科学的根拠に基づく医薬品セキュリティ強化に資する教育・研究を行う。
		生物 / 化学	統合生化学	生化学を基盤とし、分子から個体までを繋ぐ統合的アプローチにより、輸送体(トランスポーター)の生理的・病態的役割を解明する。さらに、その分子メカニズムに基づく創薬基盤を構築し、次世代のトランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	宮地 孝明 教授
		病態代謝解析学	生物 / 化学	毒性学	化学構造と生体反応を解析するケモインフォマティクスやバイオインフォマティックとin vitro遺伝子転写発現機構解析に基づく毒性発現機構の解析やそれらを応用した新たな毒性評価戦略について教育・研究を行う。
生物 / 化学	病態機能診断学		精神・神経疾患の病態を解析し、より効果的な診断法・薬物治療について教育・研究を行う。	※ 松本 洋輔 教授	

※は他部局所属の協力教員を示す。

講座	部門	分野が指定する科目 教育研究	教育研究分野		担当教員
			名称	内容	
薬効解析応用学	薬効評価解析学	薬理	薬効解析学	一酸化窒素などによる酸化ストレスの実体を分子レベルで解析し、パーキンソン病やアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患発症機構の解明を目指す。このような状態に関連したタンパク質品質機構の詳細なメカニズムについて解析する。発症機序を基にした新規早期診断法や治療薬(中枢神経系、免疫アレルギー系、循環器系)開発についての教育・研究を行う。	上原 孝 教授
		薬理／生物臨床	炎症薬物学	炎症反応およびアレルギー反応の病態を様々な手法で解析し、新規な作用機序を有する予防薬および治療薬の開発に貢献できる新しい疾患モデルの作製と薬物評価方法などについて研究・教育を行う。	(杉本 幸雄 准教授)
		薬理／臨床	薬学データサイエンス	保健医療に関する多様な情報(診療記録、診療報酬明細情報、副作用情報等)を活用し、保健医療の発展に貢献することを目的とする。そのため、大規模かつ複雑データの高度処理および応用統計解析に基づく臨床疫学的研究に関する教育・研究を行う。	小山 敏広 教授
		薬理／臨床	臨床基礎統合薬学	臨床研究と基礎研究を統合的に実施するとともに、検証的な臨床研究をはじめとする薬学トランスレーショナルリサーチを推進するための教育・研究を行い、薬学研究成果を社会実装に導くことを目的とする。特に、腎臓病薬物療法の最適化、腎疾患の新規治療法開発、小児・妊婦における薬物療法の個別最適化に焦点を当てる。	山本 和宏 教授
	薬物療法応用学	薬剤	生物薬剤学	がん治療に関連する医薬品の体内動態特性の評価や新たな治療標的の探索から得られた知見に基づいて、副作用を低減し、治療効果を改善するDDS製剤の開発を目指す。これらの研究を通じて、医薬品の有効性・安全性の向上を目的とした製剤開発に関する教育・研究を行う。	(丸山 正人 准教授)
		臨床／薬剤	臨床薬物動態学	薬物療法の個別化至適化手法の構築を目的に、薬物の体内動態と薬効に影響を与える変動因子の同定と変動メカニズムの解明を目指した教育・研究を行う。また、臨床データの適及的並びにコホートの解析により、薬物療法の最適化を支援する科学的根拠の発見と蓄積を目的とする教育・研究を併せて実施する。	(合葉 哲也 准教授)
		化学／生物	核酸創薬化学	生体関連分子の分子認識能を基にした独特な複素環化合物の分子設計と有機合成化学的研究および、それらの生化学的機能評価研究を通じて、革新的な次世代医薬品開発の基盤構築に関する教育・研究を行う。	谷口 陽祐 教授
	環境因子応用解析学	臨床／生物	疾患薬理制御科学	人が積極的に摂取する医薬品だけでなく、食物や嗜好品等に含まれる成分も生体に影響し、良い側面だけでなく様々な疾患の発症にも関わっている。それら外来性の因子の摂取や生体との相互作用を制御し、薬物療法の個別適正化や非感染性慢性疾患の発症抑制等に資する教育・研究を行う。	有吉 範高 教授
		生物	国際感染症制御学	新興・再興感染症のうち、寄生虫及びウイルス性疾患に焦点を当て、安定した培養系・評価系を構築し、新規治療剤のシーズ選抜と薬剤標的の解明研究を通して関連疾病の分子基盤構築から医薬品開発に至る広範囲の教育・研究を行う。	(金 惠淑 准教授)
	安全(連携講座)性評価学	薬理／生物	医薬品評価学	ヒトiPS細胞や臓器チップ、インシリコなどを活用し、医薬品や化学物質、ワクチン等に関する薬理作用・安全性、発現機序、新規試験法の開発などの研究を行う。これらを通じて、規制行政に資する教育・研究を行う。	諫田 泰成 客員教授
化学／生物		生物有機化学	生理活性物質の合成・構造と機能・反応性・生体分子との相互作用に関する有機化学的研究を通じて、革新的な低分子・中分子医薬品開発の基盤となるケミカルバイオロジーに関する教育・研究を行う。	出水 庸介 客員教授	
薬理／生物		医薬安全科学	医薬品の副作用回避を目的に、重症薬疹、薬剤性間質性肺炎、横紋筋融解症などの重篤副作用に関して、その発現要因、診断バイオマーカーの探索、発現機序、その行政利用について、主として医療情報データベース、臨床試料及び培養細胞等を対象にした研究を行う。これらを通じて、製造販売後安全対策の重要性の理解促進に資する教育・研究を行う。	齊藤 公亮 客員教授 (荒川 憲昭 客員准教授)	
生物		安全性予測評価学	有害性発現機序に基づいたin vitro試験データ、in silicoモデルおよび大規模毒性データベースなどを統合的に活用した化学物質の安全性予測評価手法の開発と信頼性向上、国際調和、行政利用促進に資する教育・研究を行う。	平林 容子 客員教授 増村 健一 客員教授 (足利 太可雄 客員准教授)	
生物		先進毒性評価学	動物実験の精緻化、新規試験法、バイオマーカーの構築、ならびに毒性メカニズムの解析を通じ、安全性評価の高度化に向けた研究を行う。化学物質や食品関連物質を対象とした手法の信頼性・妥当性評価、およびリスク評価への統合的応用に関する研究を通じて、国際協調に基づいた評価体系のトランスレーション(移行)に資する教育・研究を行う。	山田 隆志 客員教授	
生体金属作用学(連携講座)	薬理／生物	分子病態学	メチル水銀を中心とした生体金属の作用を分子病態レベルで解析することによって、生体金属に起因する疾患の病因と特性について研究を行う。これらの過程を通じて、生体金属に起因する疾患の診断、予防および治療に資する教育・研究を行う。	藤村 成剛 客員教授 (永野 匡昭 客員准教授) (住岡 暁夫 客員准教授) (丸本 倍美 客員准教授)	
	薬理／生物	臨床病態解析学	メチル水銀中毒の代表的疾患である水俣病は、主に感覚野、視覚野、聴覚野、小脳が傷害される中枢神経疾患である。脳磁計・MRIを使って病態解析を行うとともに、磁気刺激治療による治療法を検討する。これらの過程を通じて、中枢神経疾患の診断および治療に資する教育・研究を行う。	中村 政明 客員教授	

## (参考) 各科目における試験内容と参考教科書など

科目	試験内容	参考教科書など※
物理	物理化学 (熱力学, 平衡, 電気化学, 反応速度論, 量子化学, 分子間相互作用, 表面化学, 分光法など), 分析化学 (容量分析とその平衡, 分配平衡, 分光分析, 機器分析, 分離分析, 放射性壊変と放射平衡など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトキンス物理化学要論第7版 (ISBN : 978-4-807-90977-3)</li> <li>・パートナー分析化学 I・II 改訂第4版増補 (ISBN : 978-4-524-40453-7, 978-4-524-40454-4)</li> </ul>
化学	有機化合物 (天然物・医薬品などを含む) の命名・性質・構造・反応・合成 (ただし, 機器データによる構造解析を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルハルト・ショアー現代有機化学 (上) (下) (ISBN : 978-4-759-82029-4, 978-4-759-82030-0)</li> </ul>
生物	生化学 (タンパク質と酵素, アミノ酸, 脂質, 核酸, 糖質, エネルギー代謝), 分子・細胞生物学 (細胞の構造, 細胞骨格, 細胞内小器官, 細胞内輸送, 細胞外マトリックス, 遺伝子の複製・修復・組換え, 遺伝子発現の調節, 細胞周期と細胞死)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レーニンジャーの新生化学 [上] [下] 第7版 (ISBN : 978-4-567-24408-4, 978-4-567-24409-1)</li> <li>・Essential 細胞生物学 原書第5版 (ISBN : 978-4-524-22682-5)</li> </ul>
薬理	総論, 生体内情報伝達機構, チャンネルとトランスポーター, 生理活性物質, 神経薬理, 循環器薬理, 利尿薬, 泌尿器・生殖器作用薬, 免疫・アレルギー・炎症薬理, 呼吸器・消化器作用薬, 感覚器作用薬, ホルモン・内分泌系治療薬, 代謝性疾患治療薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEW 薬理学改訂第7版 (ISBN : 978-4-524-26175-8)</li> </ul>
薬剤	物理薬剤学, 製剤学 (DDS を含む), 生物薬剤学, 薬物動態学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤学 (第5版 廣川書店) (ISBN : 978-4-567-48036-9)</li> <li>・コンパス薬物速度論演習 (ISBN : 978-4-524-40277-9)</li> <li>・コンパス生物薬剤学 (ISBN : 978-4-524-40374-5)</li> </ul>
臨床	薬物治療 (医療情報を含む), 臨床薬物動態 (TDM, ファーマコダイナミクスを含む), 生物統計, 医薬品開発 (シーズ開発, 臨床研究を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新臨床腫瘍学 改訂第7版 (ISBN : 978-4-524-20426-7)</li> <li>・visual core pharma 薬物治療学改訂14版 (ISBN : 978-4-525-72104-6)</li> <li>・個別化医療を目指した臨床薬物動態学 1 (基礎編) (ISBN : 978-4-567-48490-9)</li> <li>・スタンダード薬学シリーズ II 薬学総論 薬学と社会第2版 (ISBN : 978-4-807-91727-3)</li> </ul>

※すべての試験問題が参考教科書から出題されることを示すものではありません。

